

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス アベニール	公表日 2026年 2月 20日
-------------	-------------------------	-------------------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13		・個々のスペースが確保されるように机の配置等を目によって変更し、活動に集中できるように配慮している。	・引き続き、感染症対策も含めてスペースの確保に努めていく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13		・基準人員配置を守りながら、個々の支援が全児童に提供できるような職員数を配置している。	・今後も人員基準配置を守りながら、しっかりと支援が提供できる職員配置に努める。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11		・個々の特性に応じて、本人が分かりやすい方法で活動内容や流れを説明している。	・バリアフリー化は現状の環境では難しい面もあるが、その中でも実施可能なものは配慮していく。 ※未回答2
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13		・室内の整理整頓はもちろん、サービス提供終了後は清掃、消毒に努めている。	引き続き、継続ができるように努める。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	1	・個別で対応可能な部屋は準備している。必要な場面ではパーティションを使用しながら活動提供も実施している。	・引き続き、特性に応じた対応や配慮ができるように努める。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	1	・業務改善を目的に会議等を実施し、実施後に振り返る機会を作り、評価してから変更や継続を決定している。	・全職員が一同に会議に参加することが難しいため、引き続き、全職員に情報伝達ができるように配慮する。 ※未回答2
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		・評価表を共有し、会議等で意見を出し合っている。	・引き続き、意見を出し合いながら、事業所全体の質の向上に努める。 ※未回答1
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		・個々で意見を聞く場面を作ったり、会議等で言い合える環境を作り、その場での最適解を導き出すようにしています。	・意見を言い合える環境を作り、事業所としての考えをまとめ、事業所全体の質を上げられるように今後も継続して行っていく。 ※未回答1
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	8	・第三者による外部評価は行っていない。	・第三者評価の実施を検討していく。 ※未回答2
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	3	・年間計画を作成し、施設内研修を実施している。外部研修にも参加している。	・外部研修への参加は行っているが、回数や参加できる職員が少ない為、業務改善や人員確保に努め、外部研修への参加がよりスムーズに行えるように努めている。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12		・当事業所で行っているプログラムや支援の目的等を公表している。	・今後も見る人が分かりやすいプログラムの作成・更新を行っていく。 ※未回答1
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	12		・アセスメントを行い、支援計画の作成を行っている。	引き続き、個々の特性や課題把握に努め、支援計画の作成に努める。 ※未回答1
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12		・対象となる児童の支援に携わっている職員が会議に参加できるように配慮している。	引き続き、支援に携わっている職員が会議に参加できるように努めていく。 ※未回答1
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13		・支援計画を見やすく保管するなど工夫することで目標に対しての意識を高めたうえで、支援を実施するようにしている。	・引き続き、支援目標を共有しながら、適切な支援が提供されるように努めていきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	1	・フォーマルなアセスメントを把握しながらも、インフォーマルなアセスメントも確認し、支援に繋げている。	・引き続き、フォーマル、インフォーマルなアセスメントができるように努めていきます。 ※未回答1
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12		・個々の特性や状況に応じた項目の設定や支援目標を設定できるように児童発達支援管理責任者だけでなく、職員からも意見を聞き取り、目標設定に反映させている。	引き続き、支援者の意見もふまえながらの目標設定に努めていく。 ※未回答1
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12		・会議等で実施する活動を決め、活動の目的や方向性を職員間で共有している。	引き続き、チームで活動の質を高めていく。 ※未回答1
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12		・対象児の特性によって固定する、固定しないを決め、活動を提供している。	・活動の種類を増やすことでマンネリ化を防ぎ、日々活動内容の質を高められるように努めていく。 ※未回答1

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12		・個々の状況に応じて、個別、集団での活動を組み合わせながら目標に向けて支援が実施できるように支援計画を作成している。	・引き続き、児童の状況に合わせた支援計画を作成し、支援が提供できるように努めていく。 ※未回答1
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	1	・朝礼で、当日の活動プログラムのや役割分担を確認できるようにしている。	・更に意見を言い合えるチーム作りや環境を整えていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	2	・終礼を行い、緊急性の高い事案は報告できるようにしている。翌日の朝礼等で良かった点や支援方法の課題や反省点など話し合っている。	・引き続き、継続していけるように努める。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12		・目標を把握しながら支援が提供できるように配慮しながら、記録に関しても計画に沿った内容で、簡潔に記載できるように努めている。改善や検証に関しては必要があれば会議を開くなどして対応している。	・引き続き、簡潔で読み手に分かりやすい記録の記載に努めながら、改善の必要がある場合は会議等で解決に繋げていけるようにする。 ※未回答1
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13		・月末評価を実施するようしており、変更が必要になった場合に見直しを行っている。	・現状を継続していけるように努める。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13		・現状は児童発達支援管理責任者が参加しており、職員は参加していない。	・日々の業務もある為、参加が難しい場面もあるが、参加できるように努めていきたい。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11		・連携できる場合は話し合い、支援の方向性を合わせられるように努めている。	・引き続き、他事業所とも連携できるように努め、支援の方向性を合わせていけるようにしていきたい。 ※未回答2
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	1	・移行や社会生活に必要な力を身に付けられるように支援を提供し、繋げていけるように努めている。 ・保育所やこども園等との連携はできていない場所とできていない場所がある。	・引き続き、移行や社会生活をイメージしながら支援を提供していけるように努めていながら、保育所等との連携も幅も広げていけるように努める。 ※未回答1
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	1	・連携する必要がある場合は、すぐに会議等に参加する準備は行っている。	・学校との連携を深めていけるように努める。 ※未回答1
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	3	・児童発達支援センターとの連携や取組しているが、スーパーバイズとして助言を受けてはならず、別でスーパーバイザーに助言を受けている。	・児童発達支援センターとの連携は引き続き行っていく。 ※未回答2
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	10	・個別での情報共有等は行っている。	・必要に応じて連携していく。 ※未回答1
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13		・日々の連絡帳で情報共有を図りながら、足りない部分は電話連絡等で状況や課題について話し合っている。	・引き続き、情報共有に努めていく。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	4	・研修としては取り組んでいないが、個々の状況に応じて家庭での子育てに関する相談や対応方法などに対して助言を行っている。	・研修として実施することも検討していきながら、分かりやすく、的確な助言ができるように努める。 ※未回答1	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13		・説明している。	・引き続き、説明していく。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13		・聞き取る機会を設けたうえで支援計画の作成に努めている。	・今後も聞き取り方法など検討しながら支援計画の作成に努めていく。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	13		・支援計画の内容を説明しながら、同意を得ている。	・引き続き、取り組んでいく。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13		・個々の状況に応じて、面談の機会を設け、助言等を行っている。	・引き続き、取り組んでいながら、更なる的確な助言ができるように努める。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	9	・保護者会等は実施していない。	・必要性も含めて、実施の検討を行っていく。 ※未回答1
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13		・体制は整えている。気になることがあれば聞きやすい関係作りに努めている。	・引き続き、子どもや保護者から話があった場合には丁寧に対応できるように努めていく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	6	・家族向けのLINEを作成し、常に家族と連絡が取りやすいように体制を整えている。	・SNS等は積極的に行っていないので、今後SNSの必要性も含めて、実施を検討していく。 ※未回答2
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13		取り扱いには十分に気を付け、都度職員にも伝えていく。	・引き続き、継続して個人情報の管理に努めていく。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13		・分かりやすい説明を行えるように配慮している。	・引き続き、分かりやすい説明等ができるように努める。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	9	・実施できていない。	・必要性や実施の可否について検討する。 ※未回答2
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13		・緊急時を想定した研修等を実施している。
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13		・非常災害の発生に備えて、実際に想定した訓練に取り組んでおり、その場で出た課題を事業所に持ち帰り、検討し、次の訓練に活かしている。	・引き続き、実際に想定した訓練になるように努めていく。
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	13		・服薬状況では、薬が変わった際は保護者に服薬説明書を提出してもらっている。	・引き続き、継続していく。
48		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12		・朝礼で、その日利用する食物アレルギーを持つ利用者を確認し、おやつ準備に注意を払っている。	・引き続き、継続していく。 ※未回答1
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13		・研修を実施しており、日頃から安全に配慮しながら支援に取り組んでいる。気になった点などは朝礼や会議等で話し合っている。	・引き続き、継続していく。
50		子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13		・緊急時避難用具の中に、連絡先名簿を入れている。	・引き続き、継続していく。
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12		・細かいことでもヒヤリハットを出せるように書式を簡潔にしながら気付きを大切にしている。	・引き続き、取り組み、事故に繋がらないように配慮していく。 ※未回答1
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13		・毎年、施設内研修を実施している。	・虐待防止の意識が高められるように組織として今後も検討を繰り返していく。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	12		組織で検討・決定し、子どもや保護者にも説明しながら支援計画に記載し、同意を得ている。	・引き続き、継続していく。 ※未回答1	